



2022-2023 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：元木 誠二 ● 副会長：村田 均、高木 壽一 ● 幹事：森田 拓巳
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00~13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランディア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス Sharir Rotary@peach.plala.or.jp

第 2872 回例会 2022 年 8 月 3 日(水)

発行：会報・広報・雑誌委員会

点鐘：元木 誠二 会長

司会：三浦 詔男 副 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ~元木会長

- ・斜里町役場 総務部 参事 斜里郡三町終末処理事業組合 事務局長 鳥居 康人氏

2. ローターソング ~国歌斉唱、奉仕の理想(唱和なし)

3. 会長の時間 ~元木会長

- ・先週 NHK の番組で、馬場町長が「観光船事故の犠牲者を追悼する碑を町内に建立する意向」というインタビュー番組が流れていました。

ネットに掲載されていた文章を読み、早速斜里町役場に「建立事業の基金に対して支援方法やスケジュールを確認したい」と問い合わせたところ、役場の担当者からの回答は「あの記事は町長の意向とは違う放送がされている。今のところそのような計画はないので誤解しないようお願いいたします」とのことでした。記事を信じていた私は、なにか「肩透かし」を食らったような気持ちになりました。

様々な情報があふれているこの時代ですが、重要なのは「四つのテスト」にもあるように「真実かどうか」を確かめてから行動することが重要であるということに改めて気づかされました。

確かに、まだ行方不明者がいらっしゃる時点で亡くなった方を追悼する慰霊碑の建設など考えられません。

また、様々な情報から真実を知ることが、現代社会においては実は大変難しいことかもしれないことを感じたと同時に、そういった報道をするメディアの恐ろしさも改めて感じた件でありました。

さて、以前の例会で武藤会員より「誰のためにゴミ拾いをするのか」という問いかけに対して「ウミガメさんのためにやっている」というお話がありました。

私も、ゴミ拾いには何度か参加したことがあります。その時はウトロの海岸沿いでゴミ拾いをしたのですが、ゴミ拾いをしているそばで明らかに今捨てたのであろうとみられるゴミが釣り人の近くにあり、そのゴミを拾った時には心の中で「お前が捨てたゴミやろ、お前が拾えや」とイライラしながらゴミ拾いをしておりました。ゴミ拾いが終わった後でも、その話が話題となり結局、ゴミ拾いをしたのに何とも言えない気持ちになったことを思い出しました。決して清々しい気持ちや達成感を感じた覚えがありませんでした。

しかし、武藤会員のお話を聞いたとき、その当時に「ウミガメのためにゴミ拾いをしていたならば、そんな気持ちにはならなかった」と、今感じています。

昨年度、卓話をいただいた漁師の伊藤さんの「ゴミ拾いを始めたきっかけ」のお話を聞いた時も同じような気持ちになったことを思い出します。

すべての事業がそうであるように「自分の受け止め方によって、自分が心地よく事業に参加できるかできないか決定する」といったことを改めて理解させていただいたとても良いお話だったと感じていると同時にロータリーに入会していなければこのようなきっかけもなかっただろうと思い、改めてロータリークラブに在籍していることに感謝しました。

さて、本年度も「ロータリー奉仕デー」に因んだ海岸清掃を9月に予定しております。



前年度から始まった事業ですが、今後も大切な事業として継続したいという私の気持ちから今年度からは例会扱いとさせていただきます。

SNS を見ますと、斜里町でも各団体が積極的に「ゴミ拾い活動」を行っている中、各地域のロータリーでもこの奉仕デーに因んで清掃活動が積極的に行われています。

どの事業もそうですが、最初から完璧な事業などありません。しかし、1 回目、2 回目さらには 3 回、4 回と事業を継続することによってその事業の効果が最大値へと近づくことは間違いありません。今回の例会は、前回の事業よりもより改善され、効果があるものとしたいと武藤委員長の強い思いが入った例会となっております。

今年度の RI 会長ジェニファー・ジョーンズ氏のテーマは「イマジン ロータリー」です。本日は、清掃活動当日の事業に参加する自分の行動イメージ、さらには自分の気持ちをイメージしながら本日の卓話をお願いしている鳥居課長様のお話を聞いていただければ、当日はさらによい例会となると思っております。

本日の皆さんの貴重な時間を使った例会を有意義に過ごしましょう。

4. 幹事報告 ～森田幹事

- ・知床財団より、情報誌が届いています。(回覧)
- ・8月のロータリーレート～1ドル：133円です。



5. 委員会、その他の報告 ～なし

- ◆各委員会新年度活動計画発表つづき
- ・中田親睦活動委員長～目標としては、親睦活動を通じ、「会員が会員を知る」機会を設け、今年度で 60 年目を迎える斜里 RC の更なる団結力を高めることを目標とします。

6. 本日のプログラム ～元木会長

◆ゲスト卓話

- ◆武藤職業・社会奉仕委員長～元木会長よりお話がありましたように、本日は 9 月 18 日に行われます「海岸清掃」の準備として斜里町役場 総務部 参事 兼 斜里郡三町終末処理事業組合事務局長をされている鳥居様をお迎えしております。

2021～22 年度に国際ロータリーが世界で計画した「地球環境保全プロジェクト」で世界中のロータリアンが、同じ日に海岸や河川、湖沼の清掃をロータリーファミリーや他のボランティア団体、地域の住民と共に当クラブも実施しました。昨年の清掃の時期がちょうど前浜では「秋サケ釣り」が盛んな時期でもございました。会長がおっしゃっていたように、すべての方ではないと思いますがゴミを置いて行かれる方もいらっしゃるのかなと想像が付きやすいゴミもありました。他に漁網など様々なゴミが海岸に打ち寄せられているのを私たちは目の当たりにしました。そのゴミの種類の多さに戸惑いを感じました。

今年も引き続きこの活動を予定しており、ゴミを拾った後のことまでを今回の卓話を聞いて、私たちがこの事業を行う団体としてそして会員としても認識し、ご協力いただく地域の皆さまにも「適切な分別」が出来るようにするためゲストの鳥居様に来ていただきました。

- ◆鳥居 康人氏～皆さん、こんにちは、

斜里 RC がこれから毎年海岸清掃をやって行きたいとのことで、廃棄物処理の予算もとったと聞きましたので、それであればある程度分別の基本的なルールを解った上でやっていただければと思います。

海岸清掃をする時も家とか事業所でやっているゴミの分別処理は基本的には同じです。但し、空き缶とか汚れたペットボトルなどは、汚れているのでリサイクルにはまわせません。ですから、一般ゴミ扱い、燃えないゴミ扱い、粗大ゴミ扱い、と町のルールに従っていただくことになります。

「斜里広報」でもお知らせしていることなのですが、「ゴミ拾い」については、皆さん非常に活発にされている方が多くて「ウォーキング」の



方には 30 リットルのゴミ袋をお渡しして自分で使っているゴミステーションに出していただき、団体でされる方にはお礼として 15 リットルのゴミ袋を参加者にお渡ししております。
こういった取り組みがどんどん広がってくれればと思っております。

◆武藤会員～「知床観光船の事故と献花に思う事」

〈前回からのつづき〉

- 12) 数多くの献花がされたという事実は、事故を知った多くの方の傷ついた気持ちの数の一端でもあり、その花を会場で管理し続けた町職員さんへ感謝しかありません。(遺体安置の体育館にはフラワーショップすぎやまさんから差し出された花瓶が多くございました)

無償提供はこのように終わりましたが献花に来られる人はこれ以降も多くいらっしゃいました。

ここからは、献花会場でのお花のメンテナンスでどのようなお手伝いであつたかをお話いたします。



● 献花会場の花

- 1) 早い段階で町職員によって献花を活けておられたようで、外の献花台が無くなり、献花をされる方も減るだろうと思っておりました。

その後も多くの方が献花の購入に来店が続き、B&G では花がどのように扱われているかと気になっていましたら、B&G の管理者よりお花の相談をしたいとお電話をいただき、すぐに伺いました。

- 2) 当初、外の献花台が無くなると思っていたので、B&G の玄関の隅に小さく飾られているものだと思っておりましたが、それは大間違いで、玄関中央に長テーブル数台を並べ数多くの花が飾られていました。

- 3) 手作りの花瓶が大活躍。いたるところに花の世話をされた町職員さん達の創意工夫で、ペットボトルをテープで 5～6 本ほど繋ぎ、献花を包んでいた包装紙とリボンを再利用され、そのペットボトルが見えないように包装紙で包み、リボンで留め、それをたくさん作り祭壇のように飾られていました。

それを見て、ここまで丁寧なお世話をされていたことに感動したと同時に、このペットボトル祭壇では花の世話をされる方の負担がこの先膨大になると思い、ここから私がいっぱらくの間毎日足を運ぶことになりました。

何よりも、お世話をされる皆さんがとても穏やかにお花の世話をすることに大きなやりがいを見出されていたから、私も毎日顔を出すことは嬉しくもありました。

- 4) これから花の管理で課題になるのは、

- ① 増え続ける花をを入れるもの（花瓶では大きさも足りないのと、割れない素材が望ましい）
- ② 活けてある水の管理（気温が低いので活けてある水の汚れはゆっくりだが水替えを楽にする“切り花活力剤”の使用が必要）
- ③ 誰でも様々な長さの花をきれいに飾るための方法（花屋が順番に来て手入れができればよいがそれは「母の日」を目前に無理がありました）

〈次回へつづく〉

7. ニコニコ B O X ～中田親睦委員長

- ・ 本人誕生祝～松本、樽見各会員
- ・ 奥様誕生祝～泉会員

8. 出席報告 ～樽見出席・プログラム委員長

◎本日出席～33 名中 20 名出席（出席率：60.6%）



☆ 幹事より次回例会の案内

- ・ 次回は 8/17（水）第 2873 回例会～交通安全啓蒙活動例会（担当：職業・社会奉仕委員会）



2022-2023 国際ロータリーのテーマ

イマジンロータリー

斜里 RC 会長のテーマ

自分にとってのロータリーの
魅力を発見しよう